

鼓童文化財団の人材育成

研修生 想いを寄せて ～2017年11月～

「太鼓芸能集団 鼓童」メンバー養成コース研修生の2年生6名、1年生10名。
全寮制の研修所での共同生活、そして稽古の日々を通して、悩み、迷い、支えられながら、夢に向かって打ち込んでいます。
来年1月、2年生は研修を修了し、準メンバーへの選考の時を迎えます。また、1年生は進級選考が待っています。
今、何を想うのか。未来へ向かう16名の想いをぜひご覧ください。



くらす まなぶ つくる

様々な稽古や農作業やものづくり、そして共同生活。
1年目は表現のための土台づくり、2年目は実地研修などにより実践的な力を養い、
自分たちの心身を耕していきます。

太鼓・踊り・唄・笛の稽古

研修所では、太鼓を打てるだけでなく、踊れて、唄えて、笛などの楽器を演奏する技術を身につけます。
鼓童メンバーや外部からの講師を招いて、様々な稽古が行われます。また、研修生自身で考え、自主的に稽古する時間もあります。
太鼓は、基本的な打法を段階を追って学びます。鼓童の演目から「屋台囃子」「三宅」「大太鼓」「千里馬」「モノクローム」など、様々なスタイルの太鼓を稽古します。踊りでは「鬼太鼓」「剣舞」「津軽手踊り」や、琉球舞踊の「群星」などを学びます。
唄の稽古では、発声・音程・リズムなどの基本から、各地の民謡、アイヌの唄など様々な歌に触れます。また、作曲や合唱も行います。
笛は、主に篠笛を用いて音の出し方から始め、鼓童の舞台上で演奏されている曲目を中心に学びます。また、選択制で箏や胡弓、三味線などにも取り組みます。



実地研修

佐渡島内の中学校を訪れて行う「交流公演」において演奏や話で一つの公演を組み立てたり、「鼓童佐渡宿根木公演」では鼓童メンバーと同じ舞台に立って一般のお客様の前で演奏したりするなど、実践的な力を養います。

また、佐渡島内で行われる鼓童公演やイベントでは舞台設営や警備、受付などのスタッフワークも学びます。「鼓童塾」などの合宿企画では、ワークショップの手伝いをはじめ、料理でのもてなし、参加者の宿泊の受入なども行います。



茶道・能楽・講義など

茶道(裏千家)では、1年目に盆略点前、2年目からは選択制で薄茶点前(炉)まで学びます。日頃お世話になっている皆さんを研修所にお招きする「収穫祭」で、最終発表の茶席を催します。

能楽(宝生流)では年ごとに演目を一つ選び、謡と仕舞を学びます。地元の能楽愛好家の皆さんと共に能舞台に上がる経験もします。佐渡の芸能に関する講義や、戸外に出て俳句の吟行なども行います。



研修所の1日 ～夏時間～

5:00	
6:00	起床・体操・掃除 ・トレーニング
7:00	朝食
8:00	ストレッチ・締上げ・朝稽古
9:00	
10:00	全体稽古
11:00	
12:00	各自稽古
13:00	昼食・休憩
14:00	
15:00	全体稽古
16:00	
17:00	各自稽古
18:00	夕食
19:00	
20:00	各自稽古
21:00	・入浴・ミーティング等
22:00	就寝

※ 冬時間は5:30起床、22:30 就寝

くらし

昔の学校の木造校舎を生活と稽古の場とする研修所での共同生活は、人と人とのつながりの中で生きていく力をつける大切な学びの要素です。掃除は起床後、手分けして廊下や床の雑巾がけをします。約20名の食事は当番で作ります。できるだけ加工品を使わないよう心がけ、旬の食材を使います。山菜採りや魚の捌き方を習う時間もあります。



柿野浦研修所

両津港から車で約40分南下した柿野浦集落にある旧・岩首中学校の校舎をお借りし、「鼓童メンバー養成コース」研修生の寄宿舍および稽古場として活用しています。



写真の左側が稽古場(体育館)、右側が宿舎(校舎)

祭りへの参加

研修所にほど近い岩首(9月)・柿野浦(4月)の集落の祭りに受け入れていただき、生活の祈りから生まれた芸能を肌で感じていきます。

また、島内各地の祭りを見学し、様々な芸能に触れる機会もあります。



農作業

田んぼや畑ではなるべく無農薬・有機栽培、手作業で行います。収穫は研修生の食事の一部をまかなってくれます。

また、鼓童の会会員の方などに送る柿は、地元の方から教わりながら摘蕾や収穫、発送などを行います。



ものづくり

入所後すぐに、食事時に使う竹の箸を手作りします。その後、角材にカンナをかけてバチを作ります。バチは太鼓の音を出すための大切な相棒です。鼓童の舞台メンバーになっても自らバチを作ります。

その他に陶芸なども行います。



二〇一七年 講師の先生方

(五〇音順・敬称略)

青柳洋子 「能」宝生流教授嘱託

赤塚五行 「俳句」新潟日報佐渡版 俳句選者

朝倉大輔 「能」シテ方 宝生流能楽師

朝倉俊樹 「能」重要無形文化財保持者 シテ方 宝生流能楽師

石川義純 「津軽手踊り」宗家石川流師範

伊藤多喜雄 「唄」民謡歌手

岩崎ちひろ 「魚のさばき方」魚屋

岡田京子 「歌」作曲家

金子竜太郎 「太鼓など」和太鼓奏者

狩野泰一 「篠笛」篠笛奏者

金城光枝 「琉球舞踊」琉球舞踊家・太圭流華の会師範

葛原正巳 「陶芸」

野上結美 「ヴォイストレーニング」声楽家

野村和仁 「水口囃子」水口ばやし水口囃舎 代表

松田祐樹 「講義」佐渡の芸能研究者

桃井宗生 「茶道」裏千家学校茶道教授

柿野浦、岩首地区ならびに佐渡の皆様

鼓童メンバー・スタッフ講師

阿部好江、内田依利、草洋介、

小島千絵子、齊藤栄一、藤本容子、

藤本吉利、見留知弘、山口幹文、

石原泰彦、大井キヨ子、後藤美奈子、

菅野敦司、高津万理、本間康子

二年生

〈35期〉



「太鼓芸能集団 鼓童」
メンバー養成コース2年生

「大切なこと」

儀間 思音 ぎま もね

20歳 沖縄県島尻郡出身

研修所に入所して約1年と6ヶ月がたちました。入所したての時は、鼓童メンバーになり地元で公演するという夢をもって日々の稽古等に立ち向かっていましたが、ある日、同期の中でもめ事が起きて一人が飛び出してしまうという事がありました。その時自分は

「何かあつたらいけない」

と思います、とつぎにその人を追いかけていました。自分は、誰かの身の安全を守ることを大切にしていきたいと改めて感じました。この事は研修生活だけでなく社会に出ても大切にしたいです。



「僕の居場所」

小野田 太陽 おのだ たいよう

24歳 アメリカ・カリフォルニア州出身

幼い頃から僕の居場所について悩んできました。日本人の両親を持つ僕はアメリカ人？でもアメリカで育った僕は日本人？

答えが分かったのは去年九月のKASAMIXでした。最終日の交流会。初めて人前で号泣しました。あの誰しもを受け入れるアットホームな雰囲気になつたかしく、緊張の糸が緩んだからだと思います。あの日、僕はアメリカ人であり、僕の居場所は北米太鼓界である事に気付きました。

そこに鼓童メンバーになつて帰るのが夢です。コミュニティに感謝を伝えるため、そして貢献するために精一杯太鼓を鳴り響かせたいです。



「一人じゃない」

たくましゅん
詫間 俊

20歳 香川県三豊市出身

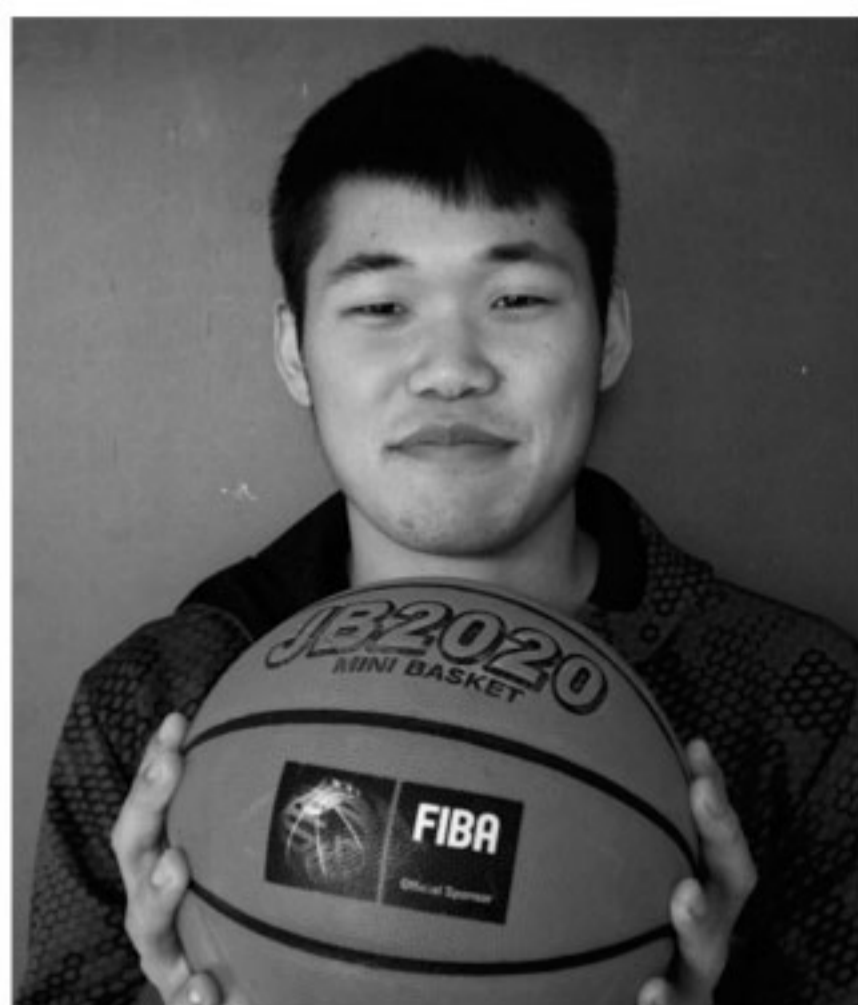
僕が研修所に来て感じることに、一人で何かをやるよりみんなで考えて意見を出し合って作る方が楽しくていいものができると思いました。

僕は2年生になって初めて曲を作りました。

どうやって作るか悩んでいた時に、助けてくれたのは同期のみんなでした。いろんな意見をもらってどんどん曲が変わっていきました。

みんながいないとこの曲はできなかったかもしれないと思った時、一人じゃないんだなと思いました。

残りの研修生活は短いですが、最後までみんなで走り抜きます。



「向かう、向き合う」

うちだ
内田みのり

21歳 長野県長野市出身

私は研修所面接試験を二回受けた。夢をあきらめたくなかったからここに来た。

研修所は想像していたよりも自分と向き合える場所だった。

自分の弱み、だめなところが痛いほどわかって何度も泣いて、自分に腹が立って、押しつぶされそうになった。でも、

「あきらめちゃだめだ」

「お前はまだやれる、負けるな」

「本気になって丁寧にやってみろ」

この言葉が何度も私を奮い立たせた。残りわずか。あの時あきらめなかった自分のために私は夢に向かっていく。



「自分」

いしい ももこ
石井萌々子

20歳 新潟県新潟市出身

幼い頃から太鼓や踊りが大好き。

一歩下がる性格で、声も小さい私でも、何故か舞台の上では自分を表現できるような気がしました。

きつと、弱い自分を強く見せることができたから。

舞台と生活は繋がる。そして太鼓はウソをつかない。

それを教えてくれたのは研修所でした。

かぎらず、ありのまま「石井萌々子」

として舞台に立つとしたら…

まず向き合うべきは自分。逃げない。

これが私！と大きな声で言えるくらい強くて折れない芯を持っていつか…。夢のあの場所に。



「スタートライン」

インペラトリ・シルウアナ

26歳 ノルウェー出身

研修所に来て、いくつものチャレンジがあった。

日本語のかべ、文化の違い、そして自分自身とたくさんぶつかった。しかし、チャレンジがあったからこそ、ここに来たのは本当によかったと思う。毎日新しいことを学ぶのは幸せだった。つらいことは夢のための必要な準備だった。

そのおかげでとても強い自分も見つかったし、自分の世界も広がった。

研修生活はもうすぐ終わるが、自分にとってこれは終わりではなく、やっとスタートラインだ。

夢一杯で、これからのチャレンジを楽しみにしている。



一年生

〈36期〉



崔永根

石井彰馬

加藤雄大

廣木優一

前濱純

新山萌

中谷憧

小室利樹

定成啓

坂牧颯人

- 1 名前、年齢、出身地
- 2 研修所に来る前、何をしていたか
- 3 特技と苦手
- 4 研修所における自分の役割、役どころ
- 5 佐渡で見つけた宝物
- 5 自己紹介

崔永根 (チェ・ヨンゴン)

22歳 韓国出身

- 1 京都の芸大に入学してマンガを描いていました。
 - 2 【特技】韓国料理 ハッチャけること
 - 3 【苦手】アイロン掛け
 - 4 みんなを見て気を配り、まとめ、もり上げる役。
 - 5 集落の方々とのつながり。
- 僕はマンガ家になりたいという夢を追って日本に来ました。ですが、海を渡り、日本の大学に入学して太鼓と仲間に出会い、太鼓のプロを目指している今の自分がいます。鼓童では初の韓国人ですが、舞台メンバーになって鼓童初というタイトルを残せるように。また、鼓童に新しい風を吹かせるようにがんばります!!

加藤雄大 (かとうたけひろ)

23歳 神奈川県横浜市出身

- 1 大学生でした。
 - 2 【特技】雑巾がけ
 - 3 【苦手】柔軟体操
 - 4 長男。
 - 5 おおきな自然とひろーい心。
- はじめまして、1年生の加藤雄大です。僕が鼓童に出会ったのは大学生になってからです。気がつけば研修生になっていました。好きなことにはとことん全力で！稽古も生活も頑張っていきます。皆さんこれからよろしくお願ひ致します！

廣木優一 (ひろきゆういち)

19歳 福岡県田川郡出身

- 1 高校生。地元チームで日本一を目指して毎日太鼓打っていました。
 - 2 【特技】170度開脚！
 - 3 【苦手】脱力、寒さ。
 - 4 弟。
 - 5 たくさんのきれいな景色、親への感謝。
- 研修所に来て自分について考えるようになり。自分はどういう人なのか、本当にしたいことなのか、今思っていることは素直な気持ちなのか…。まだ答えはでていませんが、太鼓が好きという気持ちは本物なので、これからも自分と向き合いながら楽しくがんばります！

小室利樹 (こむろりき)

19歳 栃木県芳賀郡出身

- 1 高校生。
 - 2 【特技】柔道
 - 3 【苦手】冬の乾燥
 - 4 静かなる巨漢。
 - 5 佐渡を通じて出会った人たち。
- 研修所に来て地元でいたときより、毎日走ったり、料理を作ったり、携帯電話やネットのない環境になったりと、やるようになった事、必要なもの、不便な事が多くなりましたが、自分にとってこの上ない良い機会なので、一つ一つ無駄にせず日々の生活、稽古を大切にしたいです。

定成啓 (さだなりけい)

19歳 福岡県糟屋郡出身

- 1 楽しい楽しい高校生活をおくっていました。
- 2 【特技】ふっと目に入ったものをめっちゃくちゃきれいにすること。
【苦手】継続。
- 3 田んぼ係、コン口回りの美化委員。
- 4 心優しい島人。素晴らしい仲間達(笑)
- 5 こんにちは、研修生トップクラスの変わり者ケイです。研修所に来る前も、わかっていたはずの自分の長所と短所。それがここに来たらもっともっと深い所の話であつたり、時に、自分に問いつめて、これでいいのかと思ったりと…。常に自分自身と向き合い続け、1日1日を、大切にしていきたいと思っています。

中谷 憧 (なかたにしゅう)

18歳 神奈川県横浜市出身

- 1 高校生しながら太鼓と吹奏楽をやっていました。
- 2 【特技】変顔、かんこ焼き作り。
【苦手】料理、細かい作業。
末端がダメです…。
- 3 イジられ役。
- 4 地元の家族や友人の温かさ。
- 5 研修所に来て7ヶ月。楽しかったこと、きつかったこと等、沢山ありました。しかしそれは、家族や友人、メンバーやスタッフの方々、そして研修生に支えられて自分があるのだということをもっと感じていきます。感謝しかありません。これからもずっと、突っ走ります!!!

新山 萌 (にいやまもえ)

19歳 埼玉県鶴ヶ島市出身

- 1 高校生。
- 2 【特技】食器洗い。
- 3 【苦手】ランニング、虫。
- 4 36期の変化球。
- 5 この研修生活の日々と、それを支えてくれる家族の温かさ
- 6 私の地元では芸能や祭りにふれあう機会が少なく、佐渡に来て、日本の芸能の熱さや面白さを肌で実感して、今まで知らなかった日本の姿を知ることが出来ました。女性らしい演目から力強いパワー系の演目まで活躍出来るプレイヤーを目指して研修生活頑張ります!!

前濱 純 (まえはますなお)

19歳 石川県金沢市出身

- 1 高校生。焼肉屋でバイトしてました!
- 2 【特技】大きな声を出すこと。
ムカデ退治
- 3 【苦手】食事制限!
- 4 食事、お米係!! 36期元気担当
- 5 柿野浦の田んぼからの景色。
- 6 研修所に来て大事な言葉を色んな方から教えて頂きます。
「研修所へ苦手を無くしに来たんじゃないの?」とか…。初心に返らされることばかりです。
悔いの残らない2年間を送りたい。
仲間を本気にさせる太鼓をたたく!!
前を向いて自信もって今日も元気に頑張ります!!



石井 彰馬 (いしいしょうま)

18歳 埼玉県川越市出身

- 1 高校生&バイトしながら太鼓打ちしてました!
- 2 【特技】長距離短距離走ること
- 3 【苦手】冬の朝
- 4 牛乳本数管理、気分上げ
- 5 きれいな星空と熱のある太鼓で会話できる仲間。
- 6 研修所に来る前は格好ばかり気にしていた自分がいました。研修所に来て可もなく不可もないと言われ、今までに感じた事のないくらい悔しく泣きました。本気でやりきる事の楽しさを実感しています。そんな環境に出会えた幸せを大切に今を全力で頑張ります。

坂牧 颯人 (さかまきはやと)

20歳 新潟県長岡市山古志出身

- 1 高校生。英語部の部長でした。もちろん、話せません。
- 2 【特技】農作業全般。山育ちです。
- 3 【苦手】重労働。農作業は別ですよ?
- 4 自他共に認める雰囲気いいちゃん
- 5 稽古終わりや食事の時間、就寝前のんびりできる時間
- 6 研修所に来て、色々な時間を過ごしました。稽古に集中する時間、他の研修生と話す時間。ぼーっとする時間。どんな時間を過ごすにしても、いつも時間が足りないと感じます。時間は無限にあるものだと思っていました。残り2ヶ月。限りある時間を大切に過ごします。

鼓童文化財団研修所 ご支援のお願い

太鼓芸能集団「鼓童」の舞台を花にたとえれば、研修所はベースとなる土を耕し、根を育む活動にあたります。鼓童は財団を設立して以来、研修所を公益的な活動と位置づけて運営してまいりました。演奏の技術はもとより、その人間性すべてが舞台上にそのまま表れるとの考えから「くらす・まなぶ・つくる」を柱に、まず何よりも生き方を磨くことに重きを置いております。

1996年に旧岩首中学校の校舎跡をお借りして開所し、研修生の学び舎、そして生活の場でもある「柿野浦研修所」。築60年を越えて老朽化した建物は補修の必要があり、また研修所の運営にも年間約3,000万円の費用がかかります。

ぜひ夢に向かう研修生の思いを支えていただけませんか。皆様のご理解とご協力をいただければ幸いです。なお、お寄せいただいた支援金は、公益財団法人への寄付金として、所得税(お住まいの自治体によっては住民税も)の優遇措置の対象となります。

研修生育成支援

1 研修所設備補修、研修生育成支援

2015年11月より、総額で130万円を越えるご支援をお寄せいただき、おかげさまで研修所の浴室の改修工事を行うことができました。ご協力いただいた皆様に深く御礼申し上げます。

柿野浦研修所の開設からちょうど20年となる2016年、シャワー、ポイラー、さらに水圧など大幅に改善することができました。

プロジェクトとしては浴室工事の完了をもって一旦の区切りとなりますが、改修を必要とする所は他にも様々ございます。老朽化した研修所の建物を今後も維持・活用し、豊かな自然に囲まれた環境の中で研修生を育成していくため、皆様より引き続き「研修生育成支援」にご協力いただけますようお願い申し上げます。

ご送金先

[郵便振替]

加入者名：公益財団法人鼓童文化財団

口座番号：00690-9-25829

「研修生育成支援」と明記の上ご送金ください。

[銀行振込]

口座名義：財)鼓童文化財団(サイ.コドウブンカザイダン)

第四銀行 南佐渡支店 普通 1143861

三菱東京UFJ銀行 新潟支店 普通 142468

お名前の前に「KEN」とお書き添えの上お振込ください。

鼓童ウェブサイト

よりクレジットカード(またはPayPal)でもご決済いただけます。

2 鼓童×きしゃぼん

「どんどこ古本募金プロジェクト」



KODO × きしゃぼん

鼓童文化財団は「古本募金きしゃぼん」の協働パートナーです。「きしゃぼん」は、ご自宅に眠っている本・DVDなどをリサイクル換金し、指定の団体(協働パートナー)に寄付する仕組みです。

当プロジェクトを通じていただくご寄付は、研修生の支援に使わせていただきます。

[お問い合わせ] 古本募金きしゃぼん

フリーダイヤル 0120-29-7000

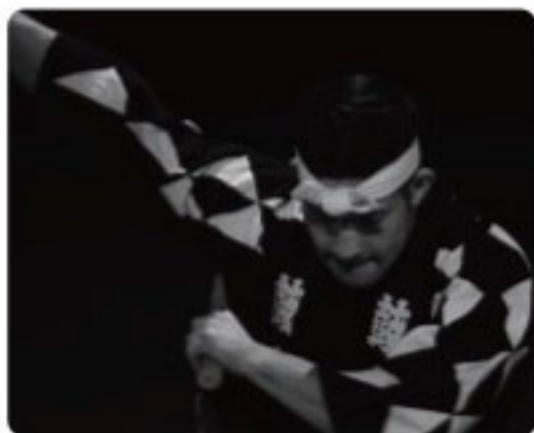
Tel. 04-2931-3000

URL: <http://kishapon.com/kodo/>

3 物による支援(インカインド)

2017年度もお米、着物、たんすなど様々な物をご提供いただきました。このようなご支援をいただける方は、ぜひ鼓童文化財団までご連絡をいただけますようお願いいたします。

来たれ！鼓童の次代を担う研修生「太鼓芸能集団 鼓童」メンバー養成コース 研修生募集



鼓童文化財団では毎年、鼓童の次代を担う研修生を募集しています。研修期間は「2年間」。応募資格は「18歳以上25歳以下」で、「経験・未経験、性別、学歴、国籍」は問いません。

応募書類を提出(11月中旬締切)の上、書類選考を経て佐渡での実地面接(1月)が行われ、4月からの研修所入所となります。2019年度の応募受付開始は7月を予定しています。詳しくは鼓童ウェブサイト内「鼓童文化財団研修所」をご覧ください。か、またはお電話、メール等でお問い合わせください。若い皆様の挑戦、心よりお待ちしております。

※ 応募を検討される方、どんなところか知ってみたい方などを対象に「研修所体験入所」も随時受け付けています。(1泊2日が基本となりますが、日帰りも可能です)お気軽にお問い合わせください。

応募・お問合せ

(公財)鼓童文化財団 担当:石原泰彦、本間康子

Tel. 0259-86-2320 Fax. 0259-86-2385

Email: kenshujo@kodo.or.jp

鼓童ウェブサイト内
「鼓童文化財団研修所」
<http://www.kodo.or.jp/apr>



お悔やみ

1997年より2014年まで、長年にわたり研修所の講師としてご指導いただいております、松永政雄先生が9月21日にお亡くなりになりました。研修生が和太鼓をやる上で能に触れた経験が参考になればと、宝生流の謡を丁寧にご指導いただき、能舞台上上がる機会を積極的に作っていただきました。ご冥福をお祈り申し上げます。

